

【ACKグループ定例会 重点化事業の成果紹介】

重点化事業の成果紹介

ACKグループ定例会

ACKグループは4日、東京都渋谷区の本社でグループ定例会を開いた。写真。全国20カ所以上の拠点から集まったグループ各社の役員を前に、進行中の重点化プロジェクト5件の成果と今後の展開を各担当者が発表した。テレビ会議やインターネットライブ中継を通じて全国の拠点に配信した。

定例会に参加した野崎秀則社長は、社員を前に「チャレンジ精神を忘れず、重点化プロジェクトを展開することが重要だ。今後さらには技術の高度化、総合化に努め、国内外の多様なフィールドで次の展開に向けて事業拡大を進めてほしい」と述べた。

紹介されたプロジェクトと発表者は次の通り（敬称略）。

▽インフラ整備・保全  
インフラ施設の個別施設設計



画策定支援（リサーチアン  
ドソリューション・佐古憲  
彦）  
▽防災  
赤外線を用い

た吹付のり面の背面空洞調査（アサノ大成基礎エンジニアリング・中原隆）  
▽交通（高度化・総合化）  
自  
転車通行空間整備に関する支援ツールの開発（エイテック・木下康之）  
▽地方創生  
新三郷駅周辺公共施設適正配置プロジェクト（オリエンタルコンサルタンツ・吉田和人）  
▽海外新規開拓  
ミャンマー国ヤンゴン中央駅ナカ開発事業（オリエンタルコンサルタンツグローバル・山内寛人）。